第2回「復興まちづくり計画」策定へ向けた地区別懇談会時の意見・提案に係る考え方について

令和3年7月7日(水)から7月25日(日)の期間に、第2回「復興まちづくり計画」策定へ向けた地区別懇談会を開催し、グループワークで住まい再建や緊急時における避難場所・避難経路、集落再生へ向けた取り組みなど、たくさんの意見・提案を出していただきました。ありがとうございました。

No.	校区	懇談会意見	回答
1	藤本	元の住所に自宅を作りたい	R3年9月25日に輪中堤・宅地かさ上げ事業に係る説明会を開催し、宅地のかさ上げ高さのめやすを提示しました。坂本支所の「復興まちづくり相談窓口」で閲覧することが出来ますので、自宅再建のめやすとしてください。また、「住まいの相談会」を八代市地域支え合いセンターで開催しています。「災害復興住宅融資」や各種支援制度、住宅再建の悩みなどご相談ください。
2	藤本	早く元の所に住みたい。 住む家を早くほしい	R3年9月25日に輪中堤・宅地かさ上げ事業に係る説明会を開催し、宅地のかさ上げ高さのめやすを提示しました。坂本支所の「復興まちづくり相談窓口」で閲覧することが出来ますので、自宅再建のめやすとしてください。また、「住まいの相談会」を八代市地域支え合いセンターで開催しています。「災害復興住宅融資」や各種支援制度、住宅再建の悩みなどご相談ください。
3	藤本	集落再生について。 今仮設にいる人が前の場所に戻れるようにしてほしい。	R3年6月27日に災害公営住宅に関する説明会を開催しています。 また、R3年9月25日に輪中堤・宅地かさ上げ事業に係る説明会を開催し、宅地のかさ上げ高さのめやすを提示しました。坂本支所の「復興まちづくり相談窓口」で閲覧することが出来ます。
4	藤本	有害動物の駆除（シカ、サル、イノシシ等）	八代市鳥獣被害対策実施隊へ、一年を通して有害鳥獣捕獲許可を出しシカ等の捕獲を行ってもらっていますが、山間部の林道が昨年の豪雨により被災しており、効率的な捕獲活動ができていないようです。 今後も実施隊と連携して捕獲活動を行って参ります。 また、農産物、林産物の被害防止柵等の補助も行っておりますので、農作物は農業振興課、林産物は水産林務課へご相談ください。 タヌキ等の小動物については、捕獲用の「小型はこわな」を貸し出しております。捕獲に際し、捕獲申請書の提出が必要となりますので坂本農林水産地域事務所にご相談ください。
5	藤本	今後の方針（嵩上）を早く示してもらわないと計画（再建の）がたてられない　具体的に！	R3年9月25日に輪中堤・宅地かさ上げ事業に係る説明会を開催し、宅地のかさ上げ高さのめやすを提示しました。 坂本支所の「復興まちづくり相談窓口」で閲覧することが出来ます。
6	藤本	一戸建ての家がほしい 部屋の数がたくさん 収納もたくさん欲しい 物置もほしい	―
7	藤本	今、4畳半しかないから、子供が帰ってきたい時に帰ってきてもらえない。物の置き場に困る。せめて2間ほしい（1人暮らし）	―
8	藤本	仮設にいるけど部屋が狭いので早くお願いします	―
9	藤本	みなしの延長はいつ決定するのか	国・県とみなしを含めた仮設住宅の供与期間の延長について協議中であり、延長に係る国の決定時期等は契約期限の半年前頃の予定です。
10	藤本	一戸建てが良い	―
11	藤本	坂本に住んでいる方は基本本家の方が多い。災害復興住宅で提示されている広さでは県外に出られた方が帰ってこられない。	―
12	藤本	藤本・大門に何人帰ってくるか？	―
13	藤本	安心安全な場所の確保	―
14	藤本	復興住宅の場所について。場所を示してください。仮設住宅にいる人は場所を示してもらわないと。態度が示せない。	災害公営住宅を建設する候補地区をお示ししています。今後、地形や土地の形状、災害リスク等を考慮して、国県と協議後に決定してまいります。
15	藤本	災害公営住宅は具体的にどこを検討しているのか	災害公営住宅を建設する5地区を候補としてお示ししています。今後、地形や土地の形状、災害リスク等を考慮して、国県と協議後に決定し、お示ししてまいります。
16	藤本	災害公営住宅の建設場所を早く示してほしい	今後、国県との協議が整い次第、お示しする予定です。
17	藤本	・公営住宅の建設場所は早急に知りたい	今後、国県との協議が整い次第、お示しする予定です。
18	藤本	・災害公営住宅の場所は早目に決めて ・アパート造り、長屋造りは住みたくない	―
19	藤本	住みやすい災害公営住宅 1戸建て、2DK以上を（できれば）	―
20	藤本	・災害公営住宅建設地を早く教えて欲しい ・アパート・長屋造りは絶対希望しない ・環境整備（特に夏場の有害動物マムシ等！！）	今後、国県との協議が整い次第、建設地をお示しする予定です。建築タイプは戸建てを基本としますが、希望者数が多い場合は長屋建て、中層階タイプとなります。
21	藤本	住まいの場所を早く決定してほしい アパート・長屋造りは希望しない	今後、国県との協議が整い次第、建設地をお示しする予定です。建築タイプは戸建てを基本としますが、希望者数が多い場合は長屋建て、中層階タイプとなります。
22	藤本	・1DK設計をしないで ・防音をよくしてもらいたい ・合志野は●●建設●	―
23	藤本	早く公営住宅を作ってください	―
24	藤本	・安全安心な住居が大事	―
25	藤本	・安全安心な場所での住まいを確保	―
26	藤本	要望された方全員に災害住宅に入れるように	―
27	藤本	・浸水した場所の早期のかさ上げが大事	―
28	藤本	子育て世代の方が移住して来れるような土地の整備	―
29	藤本	同じ集落に戻りたいけど宅地がなく進められない	―
30	藤本	若い世代の方が戻って来られるような土地開発と住宅再建する人に向けた宅地の整備	―
31	藤本	・復興住宅は広いものを ・2LDK最低 ・長屋よりも1軒1軒	―
32	藤本	若い人たちが住みたくなるような土地開発を考えて欲しい	―
33	藤本	若い世代が戻ってこれるように早く再建できる場所や建物を…	―
34	藤本	市政の方向性 地区のかさ上げ 復興住宅棟	―
35	藤本	坂本町のまちづくり考える時、まず今仮設住宅にいる人たちが安心して帰れるように、早くすることだと思います	―
36	藤本	早く地元に帰れれば考えることができる	―
37	藤本	合志野に早く帰りた～い	R3年9月25日に輪中堤・宅地かさ上げ事業に係る説明会を開催し、宅地のかさ上げ高さのめやすを提示しました。支所の「復興まちづくり相談窓口」で閲覧することが出来ます。 「住まいの相談会」を八代市地域支え合いセンターで開催しています。「災害復興住宅融資」や各種支援制度、住宅再建の悩みなどご相談ください。
38	藤本	年齢が高いので、早く再建してほしい	―
39	藤本	住まいの再建が決まらないとコミュニティが作れない	―
40	藤本	・空家の改善（安全対策）	―
41	藤本	災害地　家屋解体後跡地をどう整備してもらえるのか？ ・基礎が残っているため危険、雑草など ・いつまでも災害のイメージは消	公費解体は「生活環境保全上の支障の除去」と「二次災害の防止」を図るため、被災した建物の所有者からの申請に基づき、本市が所有者に代わって、災害廃棄物として建物の解体と撤去を行っております。 公費解体の跡地につきましては、個人で所有されている土地であり、整備については各々でご対応いただくことになります。市で跡地の整備や雑草の対策は行っておりません。 また、建物基礎については、施工可能な範囲は上屋と一緒に撤去しております。稀に建物基礎が周辺の土地の高低差による土留めを兼ねている場合など、土地の形状の安定を図る必要がある時は残置することもあります。しかし、その様な場合であっても公費解体完了後は、申請者、市、施工業者、工事監理者の4者で立会いを行い、申請者に跡地の状況のご確認と工事完了についてのご了承をいただいております。
42	藤本	坂本町ないで空家を探そうと思うが、空家バンクに坂本の物件の登録がない。	過去に4件の登録物件がありましたが、既に成約済です。R3年9月現在、坂本町での空家バンク登録物件はありません。
43	藤本	空家活用再建はできないのか（●●設計）	―

No.	校区	懇談会意見	回答
44	藤本	空家バンクの活用等	―
45	藤本	子育て世帯の移住者特区にする。（空家利用等）	―
46	藤本	空家活用制度を整備、実行してほしい （ex.同集落内のより安全な位置の空家への移動がスムーズにいく等）	空き家の利活用促進のために空き家バンク制度があります。ご相談下さい。
47	藤本	街灯の増設	―
48	藤本	街灯が少ないため、周りが暗いと、避難の経路が分からない	―
49	藤本	なんだかんだ言っても再建費用が不安です	―
50	藤本	住まいの再建が財政的支援の程度が不安 金がない	―
51	藤本	家を再建されたい方への土地探しや資金の支援を市がもっと具体的にやっていってほしい	―
52	藤本	住まいの再建にかかる費用負担を、実際の建築費用に役立てる額の支援をしてほしい	住宅の被害程度や再建方法に応じて支給する「被災者生活再建支援金」の額は、被災者生活再建支援法により定められています。なお、法改正により、今回の災害から中規模半壊世帯も支援金の支給対象となりましたが、本市では、これまで半壊世帯の支援金の支給対象への追加と、支給額の増額について、国への要望を行ってまいりました。
53	藤本	高齢化で再建の経費に不安がある	―
54	藤本	住まいの再建への情報が少ない	―
55	藤本	解体が進んでいる中、解体後の家・庭の手入れはどうなっていくのか、不安がつのります	―
56	藤本	小中学校のスクールバス等の期限が心配	現在、坂本町においては、災害復旧のために多くの工事車両が通行しており、交通安全上、児童生徒の通学が心配されます。また、肥薩線も復旧のめどが立っていない状況です。今後、地域の復旧の状況を見て、安全安心な通学が確保されるまで、スクールバスによる通学支援を行います。
57	藤本	今度住む時は回りの人間関係が1番大事です	―
58	藤本	壊しているので、明かりがない さみしい感じがする。	―
59	藤本	・コスモスなどのような、ある程度の生活に必要なものがそろう店があると、高齢者も利用しやすい	―
60	藤本	転出者ができるだけ少ないように、高齢者同士の会話等を多くする機会をもつ	―
61	藤本	医療体制を整えてほしい	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
62	藤本	将来的に病院とかどうなるのかわからないので不安です	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
63	藤本	病院がない（仮設そば）店もない　不便	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
64	藤本	病院、薬局、歯医者がほしい	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
65	藤本	坂本に帰ってきたとしても病院がないから困る	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
66	藤本	医療機関があると安心	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
67	藤本	永続的な医療・介護の提供	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービス等を提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会等と協議を進めているところです。
68	藤本	医療・福祉・介護体制の構築	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービス等を提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会等と協議を進めているところです。
69	藤本	・病院が1件ほしい	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
70	藤本	高齢者が多い内、病院等の誘致	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
71	藤本	坂本に帰ってきたとしても病院がないから困る	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
72	藤本	医療体制を整えてほしい	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
73	藤本	医療機関の必要性 市営の出張とか	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
74	藤本	・病院再開	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
75	藤本	・第1番目に病院がないので早期に	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
76	藤本	病院の建設	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
77	藤本	病院再建	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
78	藤本	・病院の建設	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
79	藤本	病院、銀行、店の再開が必要 便利な町づくり	市としても、支所周辺に何らかの形で医療サービスを提供できる体制の確保がが必要と考えており、その具体的な方法について、県や八代郡医師会と協議を進めているところです。
80	藤本	集会所の修繕	―
81	藤本	公民館がない ・住める状況にならない ・方針を早く示してほしい（国・県・市） 　→具体的な内容	―
82	藤本	自治公民館について	―
83	藤本	公民館の再編を（地区統合を促す）	被災された自治公民館の再建に当たっては、隣接する集落との共同利用等もご検討いただければと思います。補助割合を通常の2分の1から4分の3へ引き上げた「R2年7月豪雨自治公民館再建支援事業補助金」を設けております。
84	藤本	地区、公民館の再編を（地区の統合も仕方ないかと）	被災された自治公民館の再建に当たっては、隣接する集落との共同利用等もご検討いただければと思います。補助割合を通常の2分の1から4分の3へ引き上げた「R2年7月豪雨自治公民館再建支援事業補助金」を設けております。
85	藤本	皆さん”もどってきて”と伝えて、手をたずさえて、生活したい	―
86	藤本	オープンカフェを設置し離れ離れになっている方々との交流をし、一緒に気持ちを共有していきたい	―
87	藤本	地区のコミュニティ	―
88	藤本	住民が気軽に集まれる所　カフェや公民館等の利用	―
89	藤本	都市部の高校、大学等の交流拠点、関係人口づくり	―
90	藤本	昔からの行事復活・再生 地域の行事へ参加	―
91	藤本	地域の集まり、運動会、お祭り、イベントなど 集まる機会作り	―
92	藤本	神社等も守っていかなければならない	―
93	藤本	五社宮　天満宮等　地区行事の復興	―
94	藤本	公園周辺などが自然を活かした企業や施設の誘致、子供連れでも気楽に利用できる施設	―
95	藤本	ワイワイパークの近くにお店がないのでコンビニなどがあると良い。	―
96	藤本	・ワイワイパーク周辺に飲食店があれば子ども連れの方も利用しやすい	―

No.	校区	懇談会意見	回答
97	藤本	公園の早期復旧	【くま川ワイワイパーク】 （遊具側） 　一部立入制限はありますが、年内の開放を予定しています。 （グラウンド側） 　公費解体の仮置場として12月頃まで使用の後、グラウンドの整地工事等をおこない完了後の開放を予定しています。 【グリーンパークさかもと】 　復興まちづくり計画等の諸計画と関連して進めていきます。
98	藤本	・グランピング施設が作れたらいい！	―
99	藤本	ふるさと祭りの開催	―
100	藤本	ふるさと祭り開催	―
101	藤本	川あそびできる場所の整備	―
102	藤本	地域の小規模発電機能をつくる	―
103	藤本	坂本に住む子育て世代が地元で働ける場所が欲しいです	―
104	藤本	商店会社の誘致	―
105	藤本	坂本の自然を活かした企業の誘致 ・宿泊施設・コンビニ・飲食店・コインランドリー	―
106	藤本	観光できるような植物園 ※阿蘇のくじゅう花公園みたいな	―
107	藤本	・こどもが集まれる場所や、こども向けの施設を作って欲しい	―
108	藤本	アパートを建築して気軽に坂本の生活ができる環境を創り、移住につながるようなサポート	―
109	藤本	他の地域や県から移住してくれる方への支援	―
110	藤本	再生には若い力、女性の力が必要	―
111	藤本	支所（コミセン）の再建場所はなぜあそこなのか →町の方向性が不明瞭	地域の皆様等から「現位置での再建」を望む声が一番多く寄せられています。 　球磨川水系緊急治水プロジェクトによって水位が低下し安全性が高まることを踏まえ、より安全性を確保するため3m程度のかさ上げを実施することとしています。 　従来の生活サービスの拠点であり、地域住民の皆様にとって利便性の高い“まち機能”を集約し、賑わいの再生を目指していきます。
112	藤本	支所付近のかさ上げで、片岩付近の状況が変わる どのような影響があるか検証してほしい イメージ図の提示を	地域の皆様等から「現位置での再建」を望む声が一番多く寄せられています。 　球磨川水系緊急治水プロジェクトによって水位が低下し安全性が高まることを踏まえ、より安全性を確保するため3m程度のかさ上げを実施することとしています。 　従来の生活サービスの拠点であり、地域住民の皆様にとって利便性の高い“まち機能”を集約し、賑わいの再生を目指していきます。 　R3年9月25日に輪中堤・宅地かさ上げ事業に係る説明会を開催し、宅地のかさ上げ高さのめやすを提示しました。 　坂本支所の「復興まちづくり相談窓口」で閲覧することが出来ます。
113	藤本	支所の再建について。かさ上げの方法やその後の中央部の再生について。	―
114	藤本	支所の再建位置の再検討（JR、コンパクトシティ、住宅）	地域の皆様等から「現位置での再建」を望む声が一番多く寄せられています。 　球磨川水系緊急治水プロジェクトによって水位が低下し安全性が高まることを踏まえ、より安全性を確保するため3m程度のかさ上げを実施することとしています。 　従来の生活サービスの拠点であり、地域住民の皆様にとって利便性の高い“まち機能”を集約し、賑わいの再生を目指していきます。
115	藤本	支所等は1つの建物の中で良いと思う	―
116	藤本	駅ビルを作り公共施設を集約させる	―
117	藤本	利便性のよい町に　郵便局、病院、ガソリン…	被災した坂本支所周辺は従来の生活サービスの拠点であり、地域住民の皆様にとって利便性の高い“まち機能”を集約し、賑わいの再生を目指していきます。 　賑わいの再生に向けた協議を継続しています。
118	藤本	肥薩線再開（希望します）	―
119	藤本	・肥薩線再開	―
120	藤本	汽車ポッポに乗りたい！！	―
121	藤本	汽車ポッポに乗りたいです！！	―
122	藤本	鉄道の早期復旧	―
123	藤本	肥さつ線の復旧はダメならばどのような今後の方向性（現時点で）があるのか（子供の通学手段はどうすればいい）	肥薩線については、早期復旧に向けて国へ要望を行っております。JR九州の復旧方針を踏まえ、県及び沿線全体で検討することとなります。復旧するまでの間の交通手段については、JR九州が肥薩線の代替で実施されているタクシー輸送や、産交バス坂本線の利用をご検討ください。
124	藤本	高齢者などの病院、買い物など公共交通手段の確保（バス停が遠い）	―
125	藤本	・病院など通院になると難しい	―
126	藤本	交通機関を見直す。現在買い物、病院等に行くために足がない不便。公用バスが欲しい。一日数回で良い。	―
127	藤本	JRがない今、乗合バスはありますが、もう少し便を増やしてほしい（高齢・体力の低下）	産交バス坂本線については、利用状況などを総合的に検討して便数などを決めています。今後とも、地域の意見をいただきながら、利用しやすくなるよう見直しを進めてまいります。また、JR九州が肥薩線の代替として実施しているタクシー輸送も含めてご利用ください。
128	藤本	・交通の便	―
129	藤本	交通の便をよくしてほしい	―
130	藤本	買い物弱者への支援 ・交通手段（バス・JR）がない	―
131	藤本	交通機関の整備	―
132	藤本	電波を通してほしい　備蓄のラジオが使えない	―
133	藤本	IT、IOT技術の利活用 （ex.中山間地、過疎地のモデル事業として）	―
134	藤本	インターネット環境の整備	坂本地域の光ブロードバンド整備については、R4年度のサービス開始を目指しており、現在、整備事業者において設計を行っているところです。工事のスケジュール等がわかり次第お知らせいたします。
135	藤本	道路の復旧	―
136	藤本	ワイワイパークの復旧及び一部開放を（遊具側） →子供がいる世帯において重要な場所	【くま川ワイワイパーク】 （遊具側） 　一部立入制限はありますが、年内の開放を予定しています。 （グラウンド側） 　公費解体の仮置場として12月頃まで使用の後、グラウンドの整地工事等をおこない完了後の開放を予定しています。
137	藤本	ワイワイパーク周辺の整備	―
138	藤本	谷の川の広げてほしい	―
139	藤本	ライフライン	―
140	藤本	ライフライン確保	―
141	藤本	・県道の整備（病院、買い物等のため）	―

No.	校区	懇談会意見	回答
142	藤本	・浸水、くずれの発生が無いように	―
143	藤本	川幅を拡げる、戻す計画に予算を付けてください	―
144	藤本	地下に流水トンネルできないか 人吉から芦北へ（大規模） 荒瀬から合志野の地下へ（小規模）	―
145	藤本	八代方面への逃げ道の確保（国道・県道・JH）	―
146	藤本	国道、県道等の両側の砂、流木等除去はいつ行うのか？ 道幅が狭く離合が危険	通行に支障があるものについては、順次撤去作業を行っています。 御意見については、場所を確認させていただき、関係機関と協議の上、対応を検討します。
147	藤本	道を全体上げるか 支所だけ上げても他に移動できない 線路を超えるような道も必要	―
148	藤本	油谷川沿いの土地のかさ上げはするのか、どれくらい （油谷ダムの干備緊急放流に対応する為と聞いていたが）	BW区間については、国・県・市と連携して、地元のご意向を反映した輪中堤・宅地嵩上げの実施を検討します。
149	藤本	自力再建しているが、かさ上げ等不明な点が多いため判断難しい	―
150	藤本	被災した家3軒が改築して住み始めたが、今後の道路改修や河川改修のやり方次第では、また移築などが必要になる不安を持っている	―
151	藤本	瀬戸石ダム	―
152	藤本	1.荒瀬 2.合志野の対岸（藤本地区清水の瀬）引き堤い関するプロジェクト（国、県、市）を実行すれば日本でいちばん優れた治水対策となる！	球磨川中流部は山間狭窄部で平地が少なく、これまでも輪中堤・宅地かさ上げによる治水対策を行ってきており、今回のプロジェクトでも輪中堤・宅地かさ上げにより浸水被害を防止する計画としています。
153	藤本	・昔、放水路があった 今あったら被害状況が違ったかもしれない（荒瀬ダム撤去前後）	―
154	藤本	個々人がどうされるか不明 墓もあるので、住み続ける 川をどうするかで決めかねている 道も通行止のままで	―
155	藤本	坂本町は球磨川の出口に当たるのでかさ上げせず治水、遊水場所にする 人間でいえば球磨川は大腸で出口は肛門にあたる 八代市内の安全にも大変重要	―
156	藤本	油谷川ライブカメラ設置	現在稲荷橋に簡易型河川カメラを設置しています。
157	藤本	引きていの（神田工場　学校あと）質問の回答をそろそろ出してください	球磨川中流部は山間狭窄部で平地が少なく、これまでも輪中堤・宅地かさ上げによる治水対策を行ってきており、今回のプロジェクトでも輪中堤・宅地かさ上げにより浸水被害を防止する計画としています。
158	藤本	生名子～深水川口間の県道を通してほしい（中津道～八代線） （避難所として重要）	地元から御要望があることは承知しております。今後、車両通行不可能区間の整備について検討して参ります。
159	藤本	今回は支流からの水が集中してきた 砂防ダムが役に立っていなかった 流木が原因大	―
160	藤本	砂防ダムの堆積土砂の撤去をお願いする	―
161	藤本	山・川に囲まれていて坂もあるので鉄砲水などが出るかもしれない	―
162	藤本	災害発生後の生活道路の有り方をどう考えるか？計画を示してほしい	―
163	藤本	道路（アクセス）迂回路を日頃から整備しておく必要がある	―
164	藤本	浸水が始まっていると、通れる道がわからない。反射板がついている棒みたいな物を立てて、経路が分かるような道路、歩道の整備	―
165	藤本	代替の道がない（219号以外）	―
166	藤本	坂本地区の緊急の逃げ道として崇光寺裏山からワイワイパークにむけての整備ができれば良いのではないか	―
167	藤本	・他の道の確保	―
168	藤本	国道219号 坂本　八代間にトンネルを掘り219にする	―
169	藤本	林道の整備	―
170	藤本	八竜小→渋利　鶴喰→二見 林道の整備	―
171	藤本	集落再生としては ・住良い町作りとして道路の整備 ・村道がせまいため、消防車、救急車等が入ってこられない	―
172	藤本	安全な道路	―
173	藤本	避難経路に使った鶴喰～渋利間の林道は整備が行き届いていないため、通るのも怖々通った。離合場所がほとんどなく坂道でもあるので、整備してほしい。	【市道合志野・中鶴線】 災害時の迂回路となることから、危険な個所から順次整備を進めてまいります。
174	藤本	道路の拡張 広げてほしい！	―
175	藤本	避難経路が山越えして行かなければいけなくて二見、渋利などの山道を通るのが大変だった 整備をしてほしい（広くするとか）	【市道上鶴・大門瀬線、市道合志野・中鶴線】 災害時の迂回路となることから、危険な個所から順次整備を進めてまいります。
176	藤本	坂本PAは緊急時は即開放できるようにしてほしい	―
177	藤本	緊急時の高速道の活用を制度化して速やかに実行してほしい	―
178	藤本	高速道路使用（至急の時）	―
179	藤本	坂本PAで一般車両も無料通行できるように	現在、坂本PAの緊急開口部からの車両の乗り降りについては、復旧工事の促進や地域の生活支援を目的として、工事車両や支援車両、地元住民に限定されています。 現在、国により坂本PAに工事用出入口の設置が進められております。市としましては、工事用出入口を活用してスマートIC化に取り組みます。
180	藤本	ヘリポートの建設	―
181	藤本	立体駐車場　屋上階にヘリポート	―
182	藤本	新しい支所　上階の駐車場　屋上のヘリポートとして利用できれば	―
183	藤本	・ヘリポートの設置	―
184	藤本	高台に避難を作って欲しい	―
185	藤本	避難を前提としたコミセンター（公民館）の建設	―
186	藤本	旧藤本小学校跡給食室を藤本公民館として使用し、避難場所としている	―
187	藤本	少人数の避難所（空家）の活用	―
188	藤本	藤本の避難所は取り壊されるので坂本●ミコンまでは遠いので、おとしよりは大変なので新しく作って欲しい	―

No.	校区	懇談会意見	回答
189	藤本	公民館を避難所にして、住民が約1週間生きていける防災グッズを今、準備している（水・食料・ガス・発電機）	―
190	藤本	松陵体育会跡地にコミュニティセンター等避難場所を作って欲しい	今後整備される防災拠点施設計画等に留意しながら、関係機関と連携し検討を進めて参ります。
191	藤本	避難場所まで行く手段が少ない（お互いの乗り合わせとか…）	―
192	藤本	避難場所は各地域ごとの場所を作った方がいい。 あまりにも遠すぎる。	―
193	藤本	避難場所　合志野公民館	―
194	藤本	合志野は八竜小だからお年寄りはきつい。これからは公民館でお願いできないものか	―
195	藤本	お寺に避難した 指定場所は冠水した	―
196	藤本	第一避難所のコミセンが使えない	―
197	藤本	緊急時の拠点となるべき支所、コミセンの方向性が見えない	―
198	藤本	坊ノ木場、下片岩の公民館は水害時の避難所にならない	―
199	藤本	最近の避難所が八竜小学校1か所になっているが、高齢者には遠くてめんどう。	―
200	藤本	避難場所として昨年の災害時に安全だった場所を確認して再編してほしい	R3年度から災害の種別、規模に応じて適切な避難所指定し開設しています。
201	藤本	当日は県道→藤本社教センター 将来は各地区に避難所を設置	―
202	藤本	・藤本地区コミュニティセンターへの一時避難 ・旧上松中学校跡	―
203	藤本	県道に集合して、藤本社教センターに避難する	―
204	藤本	当日は県道→藤本社教センター 将来は各地区に避難所を設置	―
205	藤本	藤本地区コミュニティセンターへ避難 当日→県道→藤本地区コミュニティセンター	―
206	藤本	低い場所の地区は避難場所などの公民館も水に浸ってしまったので高い所へ建て直すことができたらいいのでは？！	―
207	藤本	各地区の高台の避難場所を確保しておいた方がいい（ヘリでも行けたらなお良い）	―
208	藤本	避難した集会所の老朽化が始まっていて、修繕してほしい。 できればシャワーがあびられるような設備があると嬉しい。	―
209	藤本	どこに避難したら良いかわからない（コミセンは危ない、八竜遠い）	―
210	藤本	各自治公民館地区に避難所の確保必要	―
211	藤本	・各集落毎に避難所が決まらないといけない	―
212	藤本	八竜小へ行くのが大変。食料持ったり手ぶらではないので、その上ご高齢	―
213	藤本	・気付いた時は水に道がつかっていた　2階への垂直避難をした ・家が川端なので引き込み線より上に逃げられない（線路で入られない）	―
214	藤本	・垂直避難ができない ・逃げ場所がない 　→今のままでは難しい	―
215	藤本	旧藤本小学校をかさ上げしたりして、新たに避難所として整備してほしい	―
216	藤本	安全な避難経路と避難場所	―
217	藤本	緊急時の避難場所は先ずは公民館へ	―
218	藤本	緊急時における避難としては公民館集合する	―
219	藤本	今ある避難場所の最大限の活用と誘導	―
220	藤本	避難場所の第一は公民館へ集合する それから八竜小、田上公民館等へ輸送する	―
221	藤本	・公設避難場所の開設基準の提示や	「高齢者等避難」が発令された際、基本的には自主避難所を開設します。「避難指示」の場合には災害の種別に応じた避難所を開設することになります。
222	藤本	避難場所への食糧・飲料水の供給を（去年の反省は） →市体育館、千丁コミセンにだけ供給されていた	―
223	藤本	合志野地区が八竜小・坂本中があったため、避難場所にあったが、そこの非常食の備蓄や備蓄場所が必要	―
224	藤本	集会所の備蓄食料品などの定期的な補充	―
225	藤本	・避難所体制の再検討	―
226	藤本	避難所には水の確保が第一	―
227	藤本	公共施設がある地区については、施設のカギを、地区の代表に預けておくことも検討をお願いしたい。（セキュリティの問題を検討）	セキュリティの問題があるため、必要性等について聞き取りをさせていただき、関係課かいと協議をさせてください。
228	藤本	昨年、「物資は各自で取りに来てください」とのことだったが、まとめて自治会の団体へ渡すシステムを作って欲しい	坂本町の備蓄倉庫の整備を予定しており、災害時には倉庫から避難所へ搬出するよう計画することとしています。
229	藤本	水が不足 飲水優先	―
230	藤本	被災後、自治会での避難所運営対策が始まっている	―
231	藤本	・防災無線は聞こえない	―
232	藤本	放送もよく聞こえなかった（大雨で）	―
233	藤本	避難情報が「坂本」と出て来れば良い。今は「八代市東部」等わかりにくい。具体的に言ってほしい。	―
234	藤本	電話がなかったから寝ていた。避難できなかったかも。	―
235	藤本	家の有線放送は良い。	―
236	藤本	IP電話を利用して、ダムの放流量など緊急放送をしてほしい。	電源開発㈱では、瀬戸石ダム付近の球磨川の流量について、警報設備の復旧が完了し、R3年6月より運用を再開されお知らせを実施されております。また、R2年7月豪雨以降、H13年から運用されている「テレホンサービス」のお知らせ内容の変更に加え、ケーブルテレビやツイッターを活用したお知らせも開始されております。さらに、ケーブルテレビ加入世帯では、手続き不要でIP告知端末での音声による流量のお知らせも行われます。
237	藤本	放送設備	―
238	藤本	・防災無線は聞こえない 　→瀬戸石ダムへの	―
239	藤本	情報が少ない	―
240	藤本	避難した後の連絡報方法がむずかしかった	―

No.	校区	懇談会意見	回答
241	藤本	ケータイ、スマホが不通となった 避難所に情報伝達手段を確保してほしい	旧小学校区ごとに衛星携帯電話を配備しました。各消防団で衛星電話の管理を行っていただいています。
242	藤本	携帯エリアの拡充に市としても力を入れて欲しい。（キャリア3社全て） 緊急時の連絡手段の確保を。	携帯電話の不感地域の解消のため、携帯キャリア3社へ要望を行っております。携帯電話は緊急時の連絡手段として必須であると認識していますので、不感地域の解消に加え、エリア拡大についても各社へ要望して参ります。
243	藤本	ラジオ入らない→電話を通る様に 携帯の電池では持たない	―
244	藤本	瀬戸石ダムを含めた防災計画を出してほしい。	関係機関と検討いたします。
245	藤本	・2019年度版の市の防災マップの改訂版はいつできるのか ・レッドゾーン等の改変は	本年10月の広報とともに坂本地域並びに仮設住宅にお住いの世帯に配布しております。
246	藤本	市房ダムの予備放流が坂本に到達した時は、降雨量のピーク時だった。もし、さらに市房ダムの緊急放流がされたら、どうなっていたのか、市は試算して示してほしい。	市房ダム管理事務所からの説明では、市房ダム緊急放流による影響は、ほとんどないとのことでした。今後も市房ダム管理事務所等と連絡を密にし、防災体制を強化していきます。
247	藤本	藤本住民の電話番号をひかえていて、連絡しあっている 要望があれば公民館を開ける	―
248	藤本	・自主防災組織の見直し	―
249	藤本	今後の長い目で見た避難経路計画	―
250	藤本	緊急時の物資がある場所がわからない	―
251	藤本	避難経路の確保が難しい！ （早目の避難が必要となる）	―
252	藤本	想定外だった 夜移動できない	―
253	藤本	・早期避難意識を理解してもらう講習会を！	マイタイムラインの作成などの早期避難に関する講座等(出前講座)をを行っております。危機管理課へご相談ください。
254	藤本	早めに避難する事 自分の体は自分でまもる	―
255	藤本	1日前に避難する事	―
256	藤本	・地域の防災認識を高める学習の場を	出前講座などを開催しておりますので、危機管理課へご相談ください。
257	藤本	平時からの避難訓練が大事（復活）命を守るため	―
258	藤本	・各部落にて意識集約してまとめ（佐瀬野） ・防災について教育訓練を実施する	―
259	藤本	・防災教育の推進	―
260	藤本	地区における避難経路弱者に対する対応等	―
261	藤本	避難できない状況になった時の避難場所の確保（近い、高い、広い）自力で避難困難な方の避難方法	―
262	藤本	安心して住める土地の確保	―
263	藤本	・キッチンカーなどが集まれるような場所やイベントの開催があれば賑わうのでは？	―
264	藤本	前回の築堤を作った時大丈夫とのことだった 川幅が狭くなった 築堤から50m程の所（自宅）	―
265	藤本	ちゃんとした地盤盛土をしてほしい。 静用のような事のないように。	―
266	藤本	かさ上げをどの範囲まで検討されるのか確認したい	9月25日に説明会を実施しておりますが、今後皆様の意向調査をもとに、本懇談会等でお話を伺いながら、具体的な検討を国・県・市が連携し検討していきます。
267	藤本	球磨川支流の油谷川の復興かさ上げについて	BW区間については、国・県・市と連携して、地元のご意向を反映した輪中堤・宅地嵩上げの実施を検討します。
268	藤本	かさ上げの時期次第で住まいのリフォーム時期も検討したい	―
269	藤本	かさ上げは出来るとことから早く始めてほしい 一気に始めるのではなく	―
270	藤本	合志野地区は高台があるので早目にかさ上げ等を作って欲しい	―
271	藤本	住まいの再建にあたり判断材料がほしい、具体的な計画など	―
272	藤本	・嵩上げはいつ頃 ・どの程度の高さまで上げられるのか ・安心して住まえる位の高さになったらいい ・坂本橋の下流の話がでてこない	―
273	藤本	住まいの再建 油谷川ぞいのかさあげはあるのか？がわからないので判断ができない	BW区間については、国・県・市と連携して、地元のご意向を反映した輪中堤・宅地嵩上げの実施を検討します。
274	藤本	油谷川　改良事業の800mとはどこの部分をされるのか？	油谷川については、R2.7月豪雨を踏まえた治水対策を検討中であり、今後、具体的な対策内容を示していきます。
275	藤本	住まいを再建するにあたって、どこまでかさ上げ出来るのか、いつから始まるのか、具体的にわかれば、はやく示してほしいです	9月25日に説明会を実施しておりますが、今後皆様の意向調査をもとに、本懇談会等でお話を伺いながら、具体的な検討を国・県・市が連携し検討していきます。
276	藤本	国交省の河川測量の進捗を示してほしい グランドデザインが不明では住まいの再建は考えられない	9月25日に説明会を実施しておりますが、今後皆様の意向調査をもとに、本懇談会等でお話を伺いながら、具体的な検討を国・県・市が連携し検討していきます。
277	藤本	東高跡地を使った引き堤の計画（公有地なので用地取得しやすい）について回答してください	球磨川中流部は山間狭窄部で平地が少なく、これまでも輪中堤・宅地かさ上げによる治水対策を行ってきており、今回のプロジェクトでも輪中堤・宅地かさ上げにより浸水被害を防止する計画としています。
278	藤本	新しい町は高台を作る（山を削り） ・はぜ山、御師山 ・藤本、大門の山を開発する	―
279	藤本	かさ上げは3mでは不足、5mあげたらどうか	―
280	藤本	上・下流にライブカメラの設置を	―
281	藤本	瀬戸石ダムの越流したことについて八代市から国に対して重大インシデントとして取り上げるよう申し入れて欲しい	―
282	藤本	小中学校の今後の見通しを示してほしい（子供がいる家庭において重要）	これまで各関係機関と連携しながら学校に対する支援を行ってまいりました。今後も地域における学びの場の確保に努めてまいります。
283	藤本	油谷ダムの緊急放流があったのかなかったのか九州電力から情報が全くないので、安全性が検討できない	油谷ダムは、R2年7月4日7時30分に洪水吐ゲートからの放流を開始しておりますが、この放流は緊急放流ではなく通常の放流です。 なお、放流開始前には操作規程に基づき八代市に放流開始通知を実施しております。
284	藤本	内谷ダム、油谷ダム、瀬戸石ダムの2020年7月4日の放流データは公開されるのか →住まいの位置を決められない	内谷ダム及び油谷ダムの放流データについては、洪水時操作報告書として国土交通省八代河川国道事務所へ提出しており、地域の皆さまに直接の公開は行っておりません。 両ダムの放流データを確認したい場合は、九州電力熊本支店に問合わせください。
285	藤本	内谷ダム、油谷ダムの2020年7月4日の放流量データに基づいた治水計画か（いつ公開、共有できるのか）→住まいの位置を決められない	油谷川については、R2.7月豪雨を踏まえた治水対策を検討中であり、今後、具体的な対策内容を示していきます。
286	藤本	かさ上げの場所を限定し2～3地区を集約し、集落の再編を進めた方がよい	―
287	藤本	避難経過　下片岩から一灯苑へ	―
288	藤本	近くの小学校に避難出来てよかった	―
289	藤本	自宅にもどり、今までの生活をしています	―
290	藤本	八代市に住居をかまえる予定 ・坂本には戻らない理由　こわい、年齢を考えると今のままで生活していくのには不安等	―
291	藤本	第1回の意見がどうなったのか、説明が全くない 意見をきくだけではなく、そのリターンをきちんとしてほしい。（途中までもよい）	これまでいただいたご意見やご提案などは、庁内で情報共有をしています。ご意見につきましては、復興まちづくり計画に反映していきます。 その他ご不明な点などございましたら坂本支所の「復興まちづくり相談窓口」や復興推進課までお問い合わせください。

No.	校区	懇談会意見	回答
292	藤本	7/4水害のあった日、中村市長はどこで何をしていたのですか？ どうして公式の発言がないのか教えて欲しいです。 市房ダムの緊急放流、瀬戸石ダムについてどうのような見解ですか？教えてください。	3日の夜から4日早朝まで自宅におり、国土交通省や気象庁、市の担当課からの情報を受けながら、「避難準備・高齢者避難開始情報」「避難指示」の発令、「災害対策本部」設置等を指示しました。 4日は、6時過ぎに自宅を出発し、途中、市内全域への避難指示発令を行なうとともに、球磨川河口～萩原橋付近の状況を確認しながら鏡支所に向かいました。支所到着後は、自衛隊への派遣要請、避難所開設を指示し、八代市災害対策本部会議を8時、13時、18時の3回行いました。午後には避難所である千丁コミセンを視察し、遥拝堰、萩原橋、深水橋左岸等の被害状況を視察しました。 市長の公務については、市のホームページ「市長の部屋」の活動報告や市長のフェイスブックでお伝えしておりますが、4日の活動については、急を要する災害対応に専念していたため、掲載しておりませんでした。 市房ダムでは、令和2年7月豪雨の際に「異常洪水時防災操作」いわゆる緊急放流は行われていないと、県より発表されています。今後、緊急治水対策プロジェクトにおいて、県では、市房ダム再開発(洪水時の放流ルールの変更、事前放流の実施、ダム堤体の嵩上げ、堆積土砂の排除など)の調査・検討が行われると聞いており、ダム下流における安全性をより高めていだけるものと期待します。 瀬戸石ダムについては、設置者である電源開発(株)により、「ダムの影響により水位が大きく上昇した事実は認められなかった。」との調査結果が公表されています。7月豪雨の際、途中でサイレンが鳴らなくなったという話も聞いており、今後そのようなことが無いよう、電源開発(株)へ早急な対応をお願いしたところです。その後、警報設備の高台移転等も検討され、テレホンサービスやケーブルテレビ、ツイッターを使ったお知らせにも取り組まれています。 引き続き電源開発(株)には、住民の安全・安心の向上にむけた取り組みをお願いしていきます。
293	藤本	当日は県道	―
294	藤本	避難場所に移動する道も大丈夫なのかわからなかったので自宅の2階に避難！	―
295	藤本	解体●草がわえない様に	―
296	藤本	早く帰る様に願う	―
297	藤本	坂本駅移設すれば支所等、災害時の通路確保にお金をかけなくても良いのでは？	―
298	藤本	小学校、中学校 未来を支える、若い世代への支援、今の所何もないように見える。 小学生の運動不足　部活動等	―
299	藤本	地区の再編、統合	―
300	藤本	まずは前提として坂本町全体の再生の方向性を示してほしい	―
301	藤本	安全な住まい（ハード面）の再生と共にコミュニティを取り戻し、日常を取り戻していく	―
302	藤本	地歴を反映した計画を作ってください	―
303	藤本	グループワークのテーマ①②③以外でも話し合える場を作って欲しい。	地域の常会や寄り合いなどご要望があれば出向くこととしています。 その他ご不明な点などございましたら坂本支所の「復興まちづくり相談窓口」や復興推進課までお問い合わせください。
304	藤本	大門公民館 イエロー・レッドは対象外になっている	―
305	藤本	・決まった時点で意見を聞かれるが、何も説明がないままだと難しい ・情報が不足 　→先に進まない	―
306	藤本	懇談会に時間の制限をもうけるのは問題あり	―